

## 平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年9月29日

上場会社名 株式会社UCS 上場取引所 東  
 コード番号 8787 URL <https://www.ucscard.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 秀樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 外山 綱正 TEL 0587-24-9028  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の業績 (平成29年3月1日～平成29年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	10,108	2.3	1,831	—	1,838	—	1,249	—
29年2月期第2四半期	9,879	1.8	△2,077	—	△2,076	—	△1,545	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	66.43	—
29年2月期第2四半期	△82.16	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	155,953	24,996	16.0	1,329.04
29年2月期	150,442	24,216	16.1	1,287.61

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 24,996百万円 29年2月期 24,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年2月期の業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,525	2.6	4,000	—	4,000	—	2,550	—	135.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	18,807,700株	29年2月期	18,807,700株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	124株	29年2月期	124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	18,807,576株	29年2月期2Q	18,807,576株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成29年3月1日～平成29年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が継続する一方で、米国政権の政策不安や地政学リスクの高まり等の国際情勢により、景気は先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、個人消費に足踏み感が見られるものの、クレジットカード決済領域の拡大・浸透等により、カードショッピングは拡大が継続しております。

一方で、カードローンやキャッシングは貸金業法の影響が継続しております。

このような状況において、当第2四半期累計期間の業績は次のとおりであります。

#### ①カード事業

##### (ア) 包括信用購入あっせん

アピタ・ピアゴ店舗では、ポイント2倍デーを毎週日曜日に拡大するとともに、ポイントを中心とした販促企画を強化いたしました。加えて、提携加盟店とのポイント企画や優待サービスを新たに実施するなど、取扱高の拡大に取り組みました。

この結果、取扱高は341,839百万円(前年同期比3.4%増)、営業収益は6,765百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

##### (イ) 融資

貸金業法の影響により、取扱高は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

この結果、取扱高は5,706百万円(前年同期比5.5%減)、営業貸付金残高は9,763百万円(前期末比2.9%減)、営業収益は881百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

##### (ウ) 電子マネー

アピタ・ピアゴ店舗でのポイント企画の開催やユニコチャージキャンペーン、メーカー共同ポイント企画の実施等により、取扱高の拡大に取り組みました。

この結果、取扱高は97,023百万円(前年同期比3.3%増)、営業収益は1,113百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

その他の営業収益をあわせ、カード事業の営業収益合計は9,291百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

営業費用につきましては、包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高増加によりポイント費用等が増加しましたが、前第2四半期に利息返還損失引当金の追加繰入をしたことによる反動減により7,759百万円(前年同期比32.1%減)となりました。

以上の結果、カード事業の営業利益は1,532百万円(前年同期は営業損失2,489百万円)となりました。

#### ②保険リース事業

##### (ア) 保険代理業

企業向けの損害保険の減少および保険料率改定による保険ショップの新規契約獲得が苦戦いたしました。

この結果、営業収益は764百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

その他車両リース等の収益を合わせ、保険リース事業の営業収益合計は817百万円(前年同期比13.1%減)となり、営業利益は299百万円(前年同期比27.5%減)となりました。

以上の結果、当社の取扱高は444,570百万円(前年同期比3.3%増)、営業収益は10,108百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は1,831百万円(前年同期は営業損失2,077百万円)、経常利益は1,838百万円(前年同期は経常損失2,076百万円)、四半期純利益は1,249百万円(前年同期は四半期純損失1,545百万円)となりました。

(2) 財政状態

資産の部におきましては、主に包括信用購入あっせんの取扱高増加により割賦売掛金が増加し、加えて、電子マネーの取扱高増加により預け金が増加いたしました。この結果、資産合計は155,953百万円となり、前事業年度末に比べ、3.7%増、5,511百万円増加しております。

負債の部におきましては、主に包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高増加により、買掛金が増加するとともにポイントによる販促企画の拡大によりポイント引当金が増加しました。この結果、負債合計は130,957百万円となり、前事業年度末に比べ、3.7%増、4,732百万円増加しております。

純資産の部におきましては、主に四半期純利益を1,249百万円計上したことおよび配当金を470百万円支払ったことにより、純資産合計は24,996百万円となり、前事業年度末に比べ、3.2%増、779百万円増加しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績予想は、概ね計画通りに推移しており、平成29年4月7日に発表いたしました見通しから変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,005,543	4,683,444
割賦売掛金	105,734,505	110,540,417
営業貸付金	10,254,360	9,928,726
未収収益	1,471,710	1,582,230
未収入金	897,518	62,685
預け金	19,816,543	21,545,596
その他	2,564,377	3,110,090
貸倒引当金	△574,000	△593,000
流動資産合計	145,170,559	150,860,192
固定資産		
有形固定資産	1,963,027	1,905,829
無形固定資産	1,253,608	1,140,407
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,138,850	2,125,352
貸倒引当金	△83,896	△78,157
投資その他の資産合計	2,054,954	2,047,195
固定資産合計	5,271,591	5,093,433
資産合計	150,442,150	155,953,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	59,809,124	65,131,465
関係会社短期借入金	48,400,000	47,000,000
1年内返済予定の長期借入金	500,000	-
1年内返済予定の関係会社長期借入金	1,000,000	1,000,000
役員賞与引当金	9,654	14,688
賞与引当金	67,000	67,000
ポイント引当金	1,948,000	3,321,000
その他	5,289,284	5,508,401
流動負債合計	117,023,063	122,042,555
固定負債		
関係会社長期借入金	4,000,000	4,000,000
利息返還損失引当金	5,157,918	4,873,401
その他	44,310	41,642
固定負債合計	9,202,228	8,915,044
負債合計	126,225,292	130,957,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,610,890	1,610,890
資本剰余金	2,001,890	2,001,890
利益剰余金	20,597,194	21,376,307
自己株式	△76	△76
株主資本合計	24,209,898	24,989,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,960	7,015
評価・換算差額等合計	6,960	7,015
純資産合計	24,216,858	24,996,026
負債純資産合計	150,442,150	155,953,625

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業収益</b>		
包括信用購入あっせん収益	6,569,759	6,765,932
融資収益	962,534	881,218
電子マネー事業収益	1,027,337	1,113,612
保険代理業収益	865,654	764,012
その他の収益	454,640	584,143
金融収益	5	22
営業収益合計	9,879,930	10,108,941
<b>営業費用</b>		
販売費及び一般管理費	11,874,369	8,214,146
金融費用	82,571	63,647
営業費用合計	11,956,940	8,277,793
営業利益又は営業損失(△)	△2,077,009	1,831,148
<b>営業外収益</b>		
受取配当金	991	1,059
雑収入	907	6,384
営業外収益合計	1,898	7,444
<b>営業外費用</b>		
雑損失	1,205	89
営業外費用合計	1,205	89
経常利益又は経常損失(△)	△2,076,317	1,838,503
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	334	-
減損損失	-	19,567
特別損失合計	334	19,567
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,076,651	1,818,935
法人税、住民税及び事業税	1,115,475	931,901
法人税等調整額	△1,646,986	△362,267
法人税等合計	△531,510	569,633
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,545,141	1,249,301

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	8,939,122	940,808	9,879,930
セグメント利益又は損失(△)	△2,489,807	412,797	△2,077,009

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

① 平成28年2月の組織変更により、従来カード事業に含めておりましたクレジットカード会員に対する保険代理業については、保険リース事業に集約しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、組織変更後の区分に基づき作成しております。

② 会計上の見積りの変更に記載のとおり、利息返還損失引当金の見積り方法に関して見直しを行いました。

これにより、従来の方法に比べて、カード事業のセグメント損失が3,669,000千円増加しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	9,291,525	817,416	10,108,941
セグメント利益	1,532,040	299,108	1,831,148

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

当第2四半期会計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。